

## 社会学系コンソーシアム第6回シンポジウム

# 高齢社会の若者論

—労働・福祉・コミュニティを考える—

2014年1月26日(日) 14:00-17:00

会場: 日本学術会議講堂  
(東京メトロ千代田線「乃木坂駅」5番出口徒歩1分)

社会の高齢化がいわれて久しい。2012年度の総務省統計によれば、総人口に占める65歳以上人口の割合(高齢化率)は24.1%に達し、今後も上昇が予想される。それにともない、社会保障給付費は29.6%に上昇し、そのうち高齢者関係給付費は68.1%に達する。高齢化は世界中で進行しているが、なかでも日本は突出しているといわれる。

こうした状況の中で、「若者」論もかつてとは様変わりしているかに見える。若年層を社会的弱者、高齢層を既得権益受益者とする対立構造として捉える乱暴な議論もある。また、実際、社会意識や価値観において、若年層と高齢層の間に大きな断絶も観察される。しかし、当然のことながら、社会はすべての年齢層によって構成される。

311後社会において、年齢層を超えてベターな社会を構想することが、喫緊の課題といえよう。

### 報告

#### 「若者論の物質的基礎」

武川正吾(日本社会福祉学会、東京大学人文社会系研究科教授、日本学術会議連携会員)

#### 「高齢化と若者の就業・職業観」

太郎丸博(数理社会学会、京都大学文学研究科准教授)

#### 「社会保障制度における「若者」の位置」

阿部真大(日本労働社会学会、甲南大学文学部准教授)

#### 「〈3・11〉の問題系と「世代」の位置」

仁平典宏(日本社会学会、法政大学社会学部准教授)

### コメンテーター

白波瀬佐和子(東京大学文学部教授)

古市憲寿(東京大学大学院総合文化研究科博士課程、慶應義塾大学SFC  
研究所訪問研究員(上席))

### 司会

遠藤薫(学習院大学法学部教授、日本学術会議連携会員)

主催: 社会学系コンソーシアム、日本学術会議社会学委員会社会学コンソーシアム分科会、  
日本学術会議社会学委員会

お問合わせ: 社会学系コンソーシアム事務局

\* 連絡先 [socconsortium@soconso.com](mailto:socconsortium@soconso.com)

参加費・事前申し込みは不要です